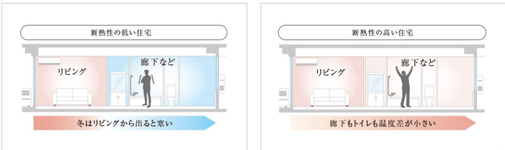
SDGs新聞	三菱地所レジデンス株式会社
地球の未来にも貢献するZEH（ゼッチ）とは	

SDGsラジオを読んでみよう！

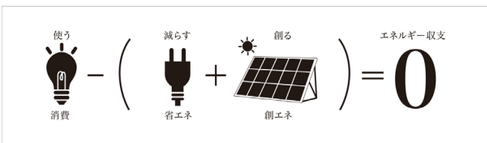
冬場、トイレに行ったとき、寒い思いをしたことはありませんか？
それはトイレに暖房が無いこともひとつですが、おうち全体の「断熱性」の影響かもしれません。
断熱性とは、熱や冷気を通さない力のことで、マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」では、
いわゆるゼロエネルギーハウス「ZEH（ゼッチ）」という断熱性に優れた住まいをつくっているんですよ。
断熱性が高いと外の熱や冷気を通さないため、冬でも夏でも外の温度に影響されないおうちになり、それによって、電気などのエネルギーの使用量が減って同時にCO2の排出量も削減されます。
さらに、太陽光発電パネルを設置したマンションも増えてきているので建物内で使うエネルギーも減らせます。
断熱性を高めてエネルギーの使用量を減らし、太陽光で電気をつくり、建物内で使用するエネルギーをゼロへ。
みなさんのおうちもZEH（ゼッチ）かもしれませんよ。
ぜひ、調べてみてくださいね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：断熱効果のイメージ
（三菱地所レジデンス公式HPより）

マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」では、「ZEH-M Oriented（ゼッチ・マンション・オリエンテッド）」という住まいをつくっています。この「ZEH-M Oriented」とは、断熱性能を高め、高効率な設備を採用することでエネルギー消費量を約20%削減します。熱や冷気を通さない力「断熱性能」の向上によって、冷暖房の効率性を高めて省エネを実現し、少ないエネルギーで効率よくお湯をつくる給湯器や、節水・節湯効果の高い給水設備などを採用することでエネルギーの無駄が減り、地球温暖化の原因となるCO2の排出量も減らせます。



画像参照：ZEHの概念図（三菱地所レジデンス公式HPより）

「ZEH-M Oriented」にすることで、住居内の室間温度差が小さくなりヒートショックのリスクが低減されるほか、カビやダニが発生しにくくなり、アレルギーや感染症の予防にもなるといわれています。「ZEH-M Oriented」では、より少ない電力で使えるLED照明などを使うことで省エネが図られ、一部の物件では太陽光パネルによって必要な電力をつくる「創エネ」も実現しています。断熱性を高めてエネルギーの使用量を減らし、太陽光で電気をつくって、建物内で使うエネルギーを減らす。三菱地所レジデンスがつくっている「ZEH-M Oriented」は、地球にも、人にもやさしい住まいとして大きな注目を集めています。

キーワード

ヒートショック

気温の急激な変化によって血圧が大きく上下し、身体がダメージを受けることです。

省エネ

電力をはじめとした、さまざまなエネルギーを減らして効率よく使うことです。「省エネ」は、地球の資源を守ることにつながります。

創エネ

太陽光や風力などの自然エネルギーを使って、新しいエネルギーを自分でつくり出すことです。これにより、電力を自給自足し、環境に優しいエネルギーの利用を促進することができます。

対象ゴール

みなさんにできること！

「ZEH」のことを周りの人たちにも教えてあげましょう。

おさらい

- 「三菱地所レジデンス」では「ZEH-M Oriented」という、環境にも人にもやさしい住まいをつくっている。
- 「ZEH-M Oriented」は断熱性能を高め、高効率な設備や機器を採用することでエネルギー消費量を約20%削減する。
- 住居の断熱性能を高くすることは、住む人の健康にもつながる。

メモ

SDGsラジオ